

# たのしい授業入門講座in帯広での分子模型づくり

2005. 1. 12 小樽分子模型の会 斎藤一郎

[ichirokasetu@yahoo.co.jp](mailto:ichirokasetu@yahoo.co.jp) <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

## 久しぶりに帯広へ

今年の北海道の入門講座は帯広で行われました。99年に入門講座が行われて以来です。あの頃はちょうど仮説実験授業の夏の全国大会も帯広で行われたため、良く帯広に行ったような気がします。

真紀子さん（小樽）や小浜さん（小樽）と、一緒にボクの車で行こうと話していましたが、真紀子さんは残念ながら行けなくなりました。他にも一緒に行く人を探してみましたが、結局、小浜さんと2人で行くことになりました。

出発は7日の早朝です。ブラジルからの帰国後、あまりゆっくりと小浜さんと話したことが無かったのですが、今回はいろんな話をしながら帯広に向かいました。

## 1日目に入門コースを行いました

入門講座の主催者の樽見さん（帯広）と打ち合わせて、1日目の最初の《もしも原子が見えたなら》の講座の後に、分子模型づくりを設定してもらいました。内容も入門講座を意識して、次のような入門コースに設定しました。

- ①《もしも原子が見えたなら》に出てくる空気の分子模型づくり
- ②エチルアルコールの分子模型づくりで角度定規の練習
- ③ダイオキシンの分子模型づくり

7人が参加してくれたけど、《もしも原子が見えたなら》の講座を受けた人はだれも来なかったのです。思った通りにはならないものですね。



でも、参加してくれた方々が作りたかった分子模型を作っていたので、良かったです。どんな分子模型を作っていたかという、砂糖、ダイオキシソ、水、エチルアルコール、科学教室のためのもし原セットです。7時から始めた講座ですが、9時になっても終わらず、そのまま12時近くまで作ってくれました。

ボクは講座が始まって特にも特にする事もなく、ちょっと説明したり、予備の電熱線を作ったりしていました。さらには9時から榊原先生の原子ブロックのナイターに行っていたので、本当に資料だけでみなさん作ってくれました。ありがとうございます。



## 今年は材料費を計算しました

いつもは電子てんびんを置いて、「材料費として1 g 25円払ってください」と言うだけでしたが、今回は材料費を計算しておきました。入門コースもホワイトボードに材料費を書いておき、①250円、②60円、③270円をいただきました。去年よりも少し値上がりしているのですが、それはボクが取引している日本ケミカル工業という発泡スチロール球の製造会社が値上げしたからなんです。お許しを…。

## 2日目からは売り場で

樽見さんをお願いして、売り場にも分子模型づくりのコーナーを作らせてもらいました。1日目の分子模型づくり入門コースが終わってから売り場に用意しようと思ってましたが、準備が出来たのは深夜1時頃で、当然誰も来ませんでした。でも、2日目に朝から作りに来てくれるかなと思い、準備だけは済ませておきました。

2日目は午前と午後に授業書の講座がありました。結局、その時間帯には誰も作りには来ませんでした。ボクも犬塚さん（愛知）の《原子とその分類》や「原子の中が見えたなら」を受けていたので、売り場にはいませんでした。携帯番号を書いた紙を掲示しておくつもりだったのに忘れてしまって、初めて分子模型づくりをしようと思っていた人には不親切だったなーと反省しています。

夕食後にもものづくりがあり、たくさんの方がいろいろなものづくりをしていました。でも、分子模型づくりには誰も来なかったので、ボクはものづくりに参加したり、セルロースの分子模型を作ったりしていました。ものづくりも後半になってから、分子模型づくりをしたことがない方が来てくれて、「初めての分子模型づくり」を見ながら、水とエチルアルコールを作ってくれました。



ものづくり広場も終わりに近づいた頃、三木さん（室蘭）が来てくれました。三木さんは小樽に来て分子模型づくりをしてくれたこともあるほど、分子模型づくりにはまっている人です。前に作った水晶の分子模型の手直しをしようとメールで打ち合わせしていましたが、水晶は次回にまわしてセルロースを作ることになりました。

それから少しして遠山さん（網走）が来てくれました。遠山さんは99年の冬の帯広

での入門講座からボクの分子模型づくりコーナーに来てくれている人で、99年に持って帰った発泡スチロール球の切りクズを今でも工作などで使っているそうです。

三木さんはひたすらセルロースを作り続けました。ものづくり広場が終了しても2人は作り続けました。



遠山さんはダイヤモンドに挑戦です。それも3段のダイヤモンドです。今回は白の35mm球を用意してこなかったのが、黒い発泡スチロール球を使いましたが、『正男さんの分子模型づくり日記1』にある通り、黒い部分はずべて切りおとされてしまいました。ダイヤモンドが完成しても遠山さんの目はまだ生きていました。そして石墨を作ることにしたのです。その頃すでに三木さんはセルロースを完成させていたので、遠山さんは1人で石墨を作り続けたのでした。確か終わったのは深夜の2時頃だったと思います。お疲れ様でした。





### 3日目の朝も分子模型づくり

売り場で分子模型づくりを行うときは、今までいつも朝きちんと起きて、講座の始まる1時間くらい前から準備していたのですが、40歳になると疲れるのか今回は2日目も3日目も寝坊してしまいました。そして9時過ぎに売り場に行き、ポーッとしながら片づけようかなと思ったいたところに元気な遠山さんが来てくれて、なんと砂糖の分子模型づくりを始めたのです。さらには三木さんも来てくれ、サリンを作っていました。



### 収穫の多い入門講座でした

今回はボク自身、良く講座を受けたと思います。実は分子模型づくりは得意ですが、この前中1でやった《もしも原子が見えたなら》の評価があまり高くなかったのです。講座を受けていろいろ気づくこともあったので、次回の《もし原》に生かそうと思っています。

吉田さん（室蘭）とも会の打合せができました。5月に室蘭で《ゴミと環境》と分子模型づくり、原子ブロックの会を行う打合せをしました。ボクは《ゴミと環境》が好きなので、楽しみができてすごくうれしいです。

遠山さんとは分子模型を作りながらいろんな話をしました。ボクはサンバが好きで8月に美幌のスターダストカーニバルに行くつもりですが、その前後で日程が合えば、網走でも分子模型づくりをさせてもらえそうです。

木下さんには「飲んでしまってあまり作らなかったから、小樽に行きます」と言ってもらえてすごくうれしかったのです。でもいっそのこと、帯広で分子模型づくりをやったら良いのかなと勝手に思っています。会場は久朗津家の仮説部屋でいかがでしょうか？ 行ってもいいかなー。

### もし良かったら感想を教えてください

今回は分子模型づくりの感想を書いてもらおうと思っていたのに、感想用紙を持つてくるのをすっかり忘れてしまいました。もし良かったら感想を教えてください。ゲストブックに書き込んでもらっても良いですし、メールを送っていただいても良いです。お待ちしておりますよ。

### 来年は札幌です

入門講座の最後に前崎さん（札幌）が来年の北海道の冬の講座に立候補してくれました。今年はたっぷりと3日間たのしく過ごすことができたので来年も分子模型づくりをさせてもらえるといいなーと思っています。ちょっと気が早いですが…。